

独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院 地域連絡協議会委員名簿

	委員名(敬称略)	所属
1	井口 恒明 (いのうち つねあき)	大津市富士見学区自治連合会長
2	高島 律子 (たかしま りつこ)	滋賀病院腎臓病患者友の会長
3	中村 由紀子 (なかむら ゆきこ)	大津市保健所長
4	菅原 弘一 (すがわら こういち)	大津市健康保険部長
5	飛田 幸男 (とびた ゆきお)	元滋賀県国民健康保険団体連合会事務局長
	木村 隆 (きむら たかし)	大津市医師会長 (オブザーバー)
6	樋口 博一 (ひぐち ひろかず)	大津市医師会 (6組理事)
7	伊豆蔵 尚夫 (いずくら ひさお)	大津市医師会 (7組理事)
8	渡邊 茂弥 (わたなべ しげや)	大津市医師会 (8組理事)
9	来見 良誠 (くるみ よしまさ)	院長
10	有村 哲朗 (ありむら てつろう)	副院長
11	大村 英幸 (おおむら ひでゆき)	事務部長
12	菅井 亜由美 (すがい あゆみ)	看護部長
病 院 関 係 職 員		
1	中野 良文 (なかの よしふみ)	総務企画課長
2	杉江 正則 (すぎえ まさのり)	経理課長
3	大崎 隆志 (おおざき たかし)	医事課長
4	清水 昭仁 (しみず あきひと)	健診管理課長補佐
5	山元 ふみ子 (やまもと ふみこ)	地域医療連携室長
6	西村 直哉 (にしむら なおや)	総務企画係長

平成 28 年度 第 2 回 独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院 地域連絡協議会 議事録

日 時 : 平成 29 年 2 月 16 日 (木) 14:00 ~ 16:00

会 場 : 会議室

出席者 : ◎地域連絡協議会委員 (敬称略)

大津市富士見学区自治連合会長	井口 恒明
滋賀病院腎臓病友の会長	高島 律子
大津市保健所長 代理	伊賀 直樹 (大津市健康保険部保健所保健総務課課長補佐)
元滋賀県国民健康保険団体連合会事務局長	飛田 幸男
大津市医師会 (6 組理事)	樋口 博一
大津市医師会 (8 組理事)	渡邊 茂弥
JCHO 滋賀病院院長	来見 良誠
JCHO 滋賀病院副院長	有村 哲朗
JCHO 滋賀病院事務部長	大村 英幸
JCHO 滋賀病院看護部長	菅井 亜由美

◎滋賀病院職員出席者

梅田 朋子 乳腺外科部長
中野 良文 総務企画課長 杉江 正則 経理課長 大崎隆志 医事課長
清水 昭仁 健診管理課補佐 山元 ふみ子 地域医療連携室長

議 事 議長 : 有村 副院長 司会 : 中野 総務企画課長

【司会】 只今より独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院地域連絡協議会を開催いたします。
はじめに滋賀病院院長 来見より挨拶がございます。

【院長挨拶】

来見院長 : 本日はありがとうございます。当院は可能な限り地域と密着した医療を展開していきたいと考えております。本日は当院の現状を報告させていただきます。よろしくお願いたします。

(外部委員、滋賀病院委員紹介)

【司会】 議事に先立ち、議長を委員であり当院副院長の有村委員に指名させていただきますがよろしいでしょうか。

・・・異議なし・・・

【司会】 また、本日欠席者1名おられますが、協議会規定第6条第2項の過半数の出席をみたしておりますので、本協議会は開催成立する事となりますので申し添えます。

【議事】

有村議長：本日は4つの議案が準備されています。本協議会では議事録を作成し、保存・公開することとなっていますので、議事録署名人の指名を行いたいと思います。議事録署名人については元滋賀県国民健康保険団体連合会事務局長 飛田（とびた）委員と滋賀病院事務部長の大村委員にお願いいたしたいのですが委員の皆さん、いかがでしょうか？

・・・異議なし・・・

議案1 《JCHO 滋賀病院 平成28年度の取り組みと今後のヴィジョン》

（来見委員）別紙資料1の内容をパワーポイントにより説明

- ・5カ年計画の内容と進捗状況について
- ・今年度と次年度の事業内容について
- ・患者アンケートの結果
- ・地域医療に関する事業展開について

質問

高島委員：結石治療センターに関しまして、近々に家人が腎結石で入院予定ですが、間に合わないのでしょうか。

来見委員：本センターは石が出来た時に、どこの科へ行けば良いか、連絡する窓口を設けたものです。治療する科が分かっている場合は問題ありません。

井口委員：交通の便が悪いですが、巡回バスなど考えられませんか。

来見委員：平日に関しては、バスの便が6便増えました。ご提案は検討したいですが、地域コミュニティバスであれば、行政との相談になります。

高島委員：老健の送迎バスの空き時間を利用してはいかがですか。

来見委員：検討します。

議案 2 《H28 年度患者数等》

(大村委員) 別紙資料 2 の内容をパワーポイントにより説明。

- ・地域包括ケア病棟で患者数底上げされた。
- ・健診閑散期の対応策を検討。
- ・老健 通所減っている。

質問

渡邊委員：平成 27 年度と比較しておりますが、5 年、10 年前とではどうですか。

大村委員：ほぼ同じです。年間を通じても増減は、毎年ほぼ同じ動きをしています。

渡邊委員：それは昔からの患者さんには支持されているが、新規開拓が進んでいないということではないですか。

大村委員：おっしゃる通りです。ご紹介の患者さんを増やすのが目下の課題です。

議案 3 《乳腺センターの活動について》

(乳腺センター部長) 別紙資料 3 の内容をパワーポイントにより説明。

質問

樋口委員：当院でも患者さんから相談されること多いのですが、自分で発見できるのでしょうか。

梅田部長：しこりは自分が思っているところと違うところにあることもあります。気になる場合は一度診察をしていただけたらと思います。

高島委員：生検はかなり大がかりなものでしょうか。

梅田部長：吸い取るので出血もします。

渡邊委員：しこりがあった場合、最初は乳腺症であるのが、年数が経つうちにガンになることがある。すぐ紹介しても良いのでしょうか。

梅田部長：紹介してください。エコーも大事ですが、MRI もおすすめですが、すぐに診断が出来、1 年に 1 回の検査で済みます。ただし造影剤アレルギーの方もおられます。

渡邊委員：簡単にわかる検査があれば良いのですが。

梅田部長：腫瘍マーカーがあれば良いが、まだ研究が進んでいません。現状では MRI の患者さんをご紹介いただけたらと思います。

有村議長：健診もご紹介ください。

議案 4 《訪問看護室の開設とステーション化》

(菅井委員) 別紙資料 4 の内容をパワーポイントにより説明。

質問

樋口委員：システムは 24 時間体制ですか。

菅井委員：現状は違いますが、今後連絡体制は整えたいと考えております。

樋口委員：当院でも在宅治療始めましたが、NS より情報をもらうのがメインとなり

ます。是非規模を大きくしていただきたい。

渡邊委員：当院では、音羽、済生会のサテライトとしてやっております。個別にやるよりは病院としてやると連携がスムーズになると考えます。24時間体制を是非お願いします。

◎滋賀病院の役割について

有村議長：この協議会の目的は、地域の多様なニーズの応える病院づくりとされております。病院側にもさまざまな事情があり、一朝一夕には実現できないこともあると思われませんが、地域にとって滋賀病院がこういった役割を果たしていくべきなのか本日ご出席いただきました委員の方々に当院に対する要望やご意見等がございましたら、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。
まずは行政の方からお願いいたします。

伊賀委員代理：訪問看護ステーションは心強いです。膳所、瀬田地区の看護拠点として頑張っていただきたい。交付金も検討しております。後日説明に上がります。

有村議長：種まきナースについてご意見はありますか。

井口委員：住民が病気についてどうしてよいか分からないなかで、滋賀病院にかかっていない方もわかるような、病院との連携が出来るような講座をお願いします。

有村議長：当院には様々な分野の専門ナースがおりますので、対応させていただきたいと考えております。

飛田委員：大津の三病院の中で滋賀病院は呼吸器が強いと考えております。得意分野があると応援しやすいです。滋賀病院は看護師の接遇が良くできていると思います。

有村議長：特色のある病院を目指したいと考えます。

飛田委員：地域医療とはなんでしょうか。

来見委員：2種類あります。へき地や遠隔地の場合は自己完結型。大津市は都市近郊型となり、高い専門性は必要であるが大病院が処理しきれしていない。その受け皿として専門性を持ちながらすべて受け入れられるのが当院であると考えております。また当院では機能補完型として心臓カテーテル、透析が出来、どこへ行ったら良いか分からない患者さんのための入り口として総合診療科を設けました。

渡邊委員：すべてにおいてレベルが高いというのは難しいですが、お年寄りはいろいろな病気をもっておられるので窓口となる病院があるのは良いことだと思います。滋賀病院の対応には満足しています。本来ならもっと評価されても良いと思います。近いので医大に紹介することが多いですが、貴院のような総合診療は大事だと思います。

樋口委員：ホスピタリティは大事です。滋賀病院はレスポンスが良く地域医療連携室との連絡もスムーズで満足しています。

高島委員：透析患者の終末医療病棟を作っていただきたい。透析患者は高齢化しています。

有村議長：皆様ありがとうございました。各委員の皆様のご意見をお聞きして、滋賀病院に対する期待が非常に高いと感じました。在宅医療さらに市民講座など地域の方々に貢献できるようにしていきたいと考えております。

【閉会の挨拶】

大村委員：本日はありがとうございました。

地域の皆様には本院のことをもっと知っていただきたいと考えておりますので、これからもこのような会を続けていきたいと考えております。

これからもよろしくお願い致します。

有村議長：予定しておりました議案につきましてははすべて終了しました。進行を事務局の司会にお返しします。

【司会】 当協議会につきましては、今年度より少なくとも年に2度開催することとされています。

来年度の開催につきましては6月～8月に第1回、9月～12月を第2回目の開催として準備を進めさせていただきたいと考えております。改めて病院からご案内いたしますのでよろしくお願い致します。

以上をもちまして、第2回独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院地域連絡協議会を終了いたします。外部委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございました。

以上